

## 第9回昭和の森 親子田んぼ教室

### 田んぼの草取り

萩 将勝（千葉市）

日 時：2021年6月26日（土）10:00～12:00 天候：晴れ

参加者：11名（大人 6名 子ども 5名）

担当指導員：武田 山下 萩 管理事務所2名、ビオトープの会 岡山さん

雨が心配されたが、当日は良い天気、ただ暑さが気になる。3家族欠席で、11名でのスタートです。初めに今日の作業説明があり、田植えをしてから2ヶ月、稲の成長の具合を測定、稲の高さ、水面より約70cm、株の茎を数えると20～25本（田植え時は約15cm、3～5本）と成長しています。

今日の主題の稲の養分を横取りする悪い雑草を取り除く作業の開始です。田植え時は、田んぼに入るのを躊躇する子もいましたが今回はすんなり入ります。雑草を抜き、稲の栄養になるよう、足で泥に埋め込みます。皆楽しそうに作業をしています。早く、雑草取りが終わった田は、終わっていない田んぼへ応援に入ります。今年の田んぼには雑草が少なく直ぐ作業は完了しました。

次に、田んぼに生えていた雑草を並べて名前を調べました。中には外来種で地下茎で栄養繁殖し水の流れを妨げる嫌われ者の“オオフサモ”、名前が一番短い“イ”など8種類の雑草を確認しました。

名前調べ終了後は子どもたち待望の生き物調べです。大人も、子どもも各々網を持ち水路や池で生き物をさがします。土手の上の容器に次々と生き物が入ります。

大きなニホンアカガエル、まだしっぽの少し残った小さなニホンアカガエル、脱皮したばかりと思われる体の柔らかいアメリカザリガニ、ひっくり返って泳ぐマツモムシ、ホトケドジョウやメダカ、外来種のシナヌマエビ、ヤゴ、シオカラトンボ等々沢山の生き物が集まりました。

これら捕まえた生き物を容器に入れ、生態系ピラミッドに置いてもらい、自然界では、弱肉強食、食べる食べられる、の関係でつながっていることを確認した後、捕まえた生き物を田んぼに返し今日の作業を終了しました。

感想を聞くと子どもたちは一様に“色々な生き物を捕まえることができて楽しかった！”

親たちは“、生態系ピラミッドに実際に置いてみてよく理解できた。”と皆、谷津田の自然を楽しんだようです。

